



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所 上場取引所 東
 コード番号 5702 URL <http://www.dik-net.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 隆章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部担当 (氏名) 小川 泰司 (TEL) 06-6444-2751
 定時株主総会開催予定日 2019年6月21日 配当支払開始予定日 2019年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|----------|------|------------------|------|----------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 196,749 | 6.0 | 8,111 | 18.2 | 7,125 | 8.0 | 5,058 | 12.7 |
| 2018年3月期 | 185,586 | 23.1 | 6,861 | 45.0 | 6,598 | 40.8 | 4,490 | 43.2 |
| (注) 包括利益 | 2019年3月期 | | 4,259百万円(△18.3%) | | 2018年3月期 | | 5,211百万円(68.8%) | |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 | | | |
|--------------|------------|-------------------|------------|----------|----------|--|------|--|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % | | | |
| 2019年3月期 | 122.40 | 120.54 | 15.5 | 7.7 | 4.1 | | | |
| 2018年3月期 | 108.43 | 106.79 | 15.6 | 7.7 | 3.7 | | | |
| (参考) 持分法投資損益 | 2019年3月期 | | -百万円 | | 2018年3月期 | | -百万円 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 | | | | |
|-----------|----------|--------|-----------|----------|----------|--|-----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | | | | |
| 2019年3月期 | 90,802 | 34,516 | 37.4 | 834.87 | | | | |
| 2018年3月期 | 94,698 | 31,669 | 32.9 | 752.42 | | | | |
| (参考) 自己資本 | 2019年3月期 | | 33,990百万円 | | 2018年3月期 | | 31,160百万円 | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年3月期 | 12,058 | △4,560 | △7,768 | 5,244 |
| 2018年3月期 | △5,672 | △3,505 | 10,339 | 5,557 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年3月期 | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 | 745 | 16.6 | 2.6 |
| 2019年3月期 | — | 12.00 | — | 13.00 | 25.00 | 1,026 | 20.4 | 3.2 |
| 2020年3月期(予想) | — | 12.00 | — | 13.00 | 25.00 | — | — | — |

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 93,900 | △6.3 | 3,950 | 6.2 | 3,700 | 16.4 | 2,630 | 15.8 | 64.60 |
| 通期 | 193,800 | △1.5 | 8,110 | △0.0 | 7,480 | 5.0 | 5,360 | 6.0 | 131.65 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期 | 43,629,235株 | 2018年3月期 | 43,629,235株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期 | 2,915,291株 | 2018年3月期 | 2,216,032株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2019年3月期 | 41,331,033株 | 2018年3月期 | 41,413,858株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 114,644 | △1.7 | 3,253 | △0.5 | 4,283 | 6.1 | 3,918 | 22.5 |
| 2018年3月期 | 116,651 | 22.9 | 3,268 | 18.9 | 4,038 | 22.8 | 3,200 | 46.0 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2019年3月期 | 94.82 | | 93.38 | | | | | |
| 2018年3月期 | 77.27 | | 76.10 | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 60,803 | 27,126 | 44.4 | 662.64 |
| 2018年3月期 | 62,635 | 25,067 | 39.8 | 601.73 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 26,978百万円 2018年3月期 24,919百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|------|-------|-----|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 54,400 | △8.3 | 1,650 | 0.7 | 2,030 | △2.7 | 1,440 | △6.2 | 35.37 |
| 通期 | 110,400 | △3.7 | 3,320 | 2.1 | 4,240 | △1.0 | 3,500 | △10.7 | 85.97 |

業績予想に関する注記

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年3月期の業績予想について本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 2 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (表示方法の変更) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が高水準を維持したことや雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では米中貿易摩擦への懸念等、海外経済の不確実性の高まりにより先行きが不透明な状況で推移しました。

こうした環境のもと当社グループは、大手需要先である自動車メーカーの堅調な需要に支えられ、製品等の販売数量は堅調に推移しました。

この結果、当社グループの連結売上高につきましては、アルミニウム二次合金地金1,158億6千6百万円（前年同期比9.4%増）、商品・原料他808億8千2百万円（前年同期比1.5%増）で、これらを併せた売上高総額は1,967億4千9百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

収益面につきましては、製品と原料の価格差（スプレッド）が安定していたことと、輸入商品塊の販売数量が増加したことにより、経常損益につきましては、71億2千5百万円（前年同期比8.0%増）の利益となり、親会社株主に帰属する純損益は50億5千8百万円（前年同期比12.7%増）の利益を計上することとなりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ46億6千2百万円減少し、685億7千4百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が32億6千8百万円、原材料及び貯蔵品が19億2千1百万円それぞれ減少したことと、その他が10億2千万円増加したことによるものであります。

(ロ) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億6千6百万円増加し、222億2千8百万円となりました。これは主に有形固定資産が6億5千9百万円増加したことによるものであります。

(ハ) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ63億3千6百万円減少し、467億6千7百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2億3千3百万円、短期借入金63億9千1百万円それぞれ減少したことと、未払費用が3億2千5百万円増加したことによるものであります。

(ニ) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4億6百万円減少し、95億1千8百万円となりました。これは主に長期借入金2億2千6百万円、繰延税金負債が1億7千4百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(ホ) 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億4千7百万円増加し、345億1千6百万円となりました。これは主に自己株式の取得による支出が4億4千4百万円、その他有価証券評価差額金が4億6千万円、為替換算調整勘定が3億2千4百万円それぞれ減少したことと、利益剰余金が41億4千7百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億1千3百万円減少し、52億4千4百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において営業活動による資金の増加は、主に税金等調整前当期純利益と減価償却費を計上したことと、売上債権とたな卸資産が減少したことにより120億5千8百万円（前年同期は56億7千2百万円の減少）となりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出により45億6千万円（前年同期は35億5百万円の減少）となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は、主に短期借入金の純増減額が減少したことと長期借入れによる収入や返済による支出により77億6千8百万円（前年同期は103億3千9百万円の増加）となりました。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 34.1 | 34.5 | 32.9 | 37.4 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 16.4 | 26.9 | 32.5 | 29.8 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 2.4 | — | — | 3.4 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 22.2 | — | — | 12.8 |

(注) 2017年3月期及び2018年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)及びインタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)については、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載を省略しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では、堅調な企業業績による設備投資の増加で、緩やかな景気回復が続くものと思われれます。一方で、海外では、英国のEU離脱交渉や、米中間の貿易摩擦の激化により、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

当アルミニウム二次合金業界においては、大手需要先である自動車メーカーの回復傾向を背景に、全体としては堅調に推移するものと期待されます。

こうした中、当社グループは、需要の拡大しているアセアン地域への展開を図るなど、時代の変化に敏速に対応できるよう社内体質の強化に努め、社業の発展に万全を期する所存であります。

次期の連結業績見通しは、連結売上高1,938億円、経常利益74億8千万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,623 | 5,336 |
| 受取手形及び売掛金 | 43,070 | 39,801 |
| 商品及び製品 | 10,660 | 10,462 |
| 仕掛品 | 152 | 144 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,528 | 9,607 |
| その他 | 2,203 | 3,223 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 流動資産合計 | 73,236 | 68,574 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 12,564 | 13,203 |
| 減価償却累計額 | △7,564 | △7,808 |
| 建物及び構築物(純額) | 5,000 | 5,394 |
| 機械装置及び運搬具 | 23,882 | 25,451 |
| 減価償却累計額 | △18,407 | △19,050 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,475 | 6,400 |
| 工具、器具及び備品 | 1,295 | 1,432 |
| 減価償却累計額 | △1,013 | △1,133 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 281 | 298 |
| 土地 | 3,664 | 3,611 |
| リース資産 | 1,176 | 1,015 |
| 減価償却累計額 | △383 | △347 |
| リース資産(純額) | 793 | 668 |
| 建設仮勘定 | 972 | 472 |
| 有形固定資産合計 | 16,187 | 16,846 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 59 | 37 |
| その他 | 110 | 121 |
| 無形固定資産合計 | 169 | 159 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,048 | 4,420 |
| 長期貸付金 | 3 | 5 |
| 退職給付に係る資産 | 323 | 285 |
| 繰延税金資産 | 316 | 110 |
| その他 | 615 | 598 |
| 貸倒引当金 | △202 | △198 |
| 投資その他の資産合計 | 5,104 | 5,222 |
| 固定資産合計 | 21,461 | 22,228 |
| 資産合計 | 94,698 | 90,802 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,420 | 9,187 |
| 短期借入金 | 39,048 | 32,656 |
| 未払金 | 1,242 | 1,220 |
| 未払法人税等 | 964 | 726 |
| 未払消費税等 | 40 | 217 |
| 未払費用 | 1,640 | 1,966 |
| 賞与引当金 | 240 | 263 |
| その他 | 505 | 529 |
| 流動負債合計 | 53,103 | 46,767 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,636 | 8,409 |
| 役員退職慰労引当金 | 5 | 6 |
| 退職給付に係る負債 | 133 | 161 |
| リース債務 | 156 | 109 |
| 資産除去債務 | 139 | 154 |
| 繰延税金負債 | 695 | 521 |
| その他 | 158 | 154 |
| 固定負債合計 | 9,924 | 9,518 |
| 負債合計 | 63,028 | 56,285 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,346 | 6,346 |
| 資本剰余金 | 8,837 | 8,837 |
| 利益剰余金 | 14,607 | 18,755 |
| 自己株式 | △745 | △1,190 |
| 株主資本合計 | 29,046 | 32,749 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,569 | 1,108 |
| 繰延ヘッジ損益 | 61 | 18 |
| 為替換算調整勘定 | 421 | 97 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 60 | 17 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,113 | 1,241 |
| 新株予約権 | 148 | 148 |
| 非支配株主持分 | 361 | 378 |
| 純資産合計 | 31,669 | 34,516 |
| 負債純資産合計 | 94,698 | 90,802 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 185,586 | 196,749 |
| 売上原価 | 172,704 | 181,925 |
| 売上総利益 | 12,882 | 14,823 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運搬費 | 2,619 | 3,093 |
| 交際費 | 79 | 87 |
| 旅費及び交通費 | 190 | 221 |
| 役員報酬 | 304 | 309 |
| 給料及び手当 | 820 | 850 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 0 | 1 |
| 賞与引当金繰入額 | 60 | 66 |
| 退職給付費用 | 24 | 35 |
| 賃借料 | 74 | 60 |
| 減価償却費 | 104 | 137 |
| その他 | 1,741 | 1,847 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,020 | 6,712 |
| 営業利益 | 6,861 | 8,111 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 76 | 80 |
| 受取配当金 | 162 | 231 |
| 為替差益 | 22 | — |
| 技術指導料 | 10 | 10 |
| 受取保険金 | 62 | 80 |
| 鉄屑売却益 | 98 | 106 |
| その他 | 100 | 151 |
| 営業外収益合計 | 531 | 661 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 704 | 926 |
| 手形売却損 | 10 | 12 |
| 為替差損 | — | 629 |
| その他 | 79 | 78 |
| 営業外費用合計 | 795 | 1,647 |
| 経常利益 | 6,598 | 7,125 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | 9 |
| 特別利益合計 | 3 | 9 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 56 | 109 |
| 投資有価証券評価損 | — | 92 |
| 特別損失合計 | 56 | 202 |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,544 | 6,933 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,711 | 1,571 |
| 法人税等調整額 | 236 | 223 |
| 法人税等合計 | 1,947 | 1,795 |
| 当期純利益 | 4,596 | 5,138 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 106 | 79 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,490 | 5,058 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 4,596 | 5,138 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 270 | △460 |
| 繰延ヘッジ損益 | 98 | △43 |
| 為替換算調整勘定 | 226 | △331 |
| 退職給付に係る調整額 | 18 | △43 |
| その他の包括利益合計 | 614 | △878 |
| 包括利益 | 5,211 | 4,259 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 5,108 | 4,186 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 103 | 72 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,346 | 8,839 | 10,618 | △744 | 25,060 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △662 | | △662 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 4,490 | | 4,490 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | △1 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | △1 | | | △1 |
| 連結範囲の変動 | | | 160 | | 160 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △1 | 3,988 | △1 | 3,985 |
| 当期末残高 | 6,346 | 8,837 | 14,607 | △745 | 29,046 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|---------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付 に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 1,298 | △36 | 164 | 42 | 1,468 | 148 | 145 | 26,822 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △662 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 4,490 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △1 |
| 連結子会社株式の取得による持分の増減 | | | | | | | | △1 |
| 連結範囲の変動 | | | | | | | | 160 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 270 | 98 | 257 | 18 | 645 | — | 215 | 861 |
| 当期変動額合計 | 270 | 98 | 257 | 18 | 645 | — | 215 | 4,846 |
| 当期末残高 | 1,569 | 61 | 421 | 60 | 2,113 | 148 | 361 | 31,669 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,346 | 8,837 | 14,607 | △745 | 29,046 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △911 | | △911 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 5,058 | | 5,058 |
| 自己株式の取得 | | | | △444 | △444 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | － | － | 4,147 | △444 | 3,702 |
| 当期末残高 | 6,346 | 8,837 | 18,755 | △1,190 | 32,749 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|-------|---------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付 に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 1,569 | 61 | 421 | 60 | 2,113 | 148 | 361 | 31,669 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △911 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | | 5,058 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △444 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △460 | △43 | △324 | △43 | △872 | － | 16 | △855 |
| 当期変動額合計 | △460 | △43 | △324 | △43 | △872 | － | 16 | 2,847 |
| 当期末残高 | 1,108 | 18 | 97 | 17 | 1,241 | 148 | 378 | 34,516 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,544 | 6,933 |
| 減価償却費 | 1,942 | 2,361 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 19 | △31 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △45 | 37 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 0 | 1 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △1 | △1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △238 | △312 |
| 支払利息 | 704 | 926 |
| 為替差損益 (△は益) | 16 | 466 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 92 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 53 | 99 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △7,661 | 2,681 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △5,416 | 1,629 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 287 | 217 |
| その他 | 23 | △599 |
| 小計 | △3,770 | 14,503 |
| 利息及び配当金の受取額 | 238 | 312 |
| 利息の支払額 | △687 | △941 |
| 法人税等の支払額 | △1,452 | △1,815 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △5,672 | 12,058 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,531 | △3,352 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 32 | 41 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △31 | △1,084 |
| 短期貸付けによる支出 | △20 | △121 |
| 短期貸付金の回収による収入 | 40 | 1 |
| その他 | 5 | △44 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,505 | △4,560 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 10,555 | △3,768 |
| 長期借入れによる収入 | 4,629 | 2,750 |
| 長期借入金の返済による支出 | △4,023 | △5,251 |
| 自己株式の純増減額 (△は増加) | △1 | △444 |
| 配当金の支払額 | △662 | △911 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △25 | △56 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △43 | — |
| その他 | △89 | △87 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 10,339 | △7,768 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 9 | △42 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,171 | △313 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,072 | 5,557 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 313 | — |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 5,557 | 5,244 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「税効果会計に係る会計基準の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」214百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」316百万円に含めて表示しております。なお、同一納税主体で「繰延税金資産」と「繰延税金負債」を相殺した影響により、資産合計と負債合計がそれぞれ134百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主としてアルミニウム二次合金の製造販売を行っているため、「アルミニウム二次合金」を報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額に関する算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は市場価格等に基づいております。事業セグメント利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 連結財務諸 表計上額 (注)3 |
|-----------------------|----------------|-------------|---------|-------------|-----------------------|
| | アルミニウム 二次合金 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 182,690 | 2,896 | 185,586 | — | 185,586 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 753 | 90 | 844 | △844 | — |
| 計 | 183,444 | 2,987 | 186,431 | △844 | 185,586 |
| セグメント利益 | 6,825 | 53 | 6,879 | △18 | 6,861 |
| セグメント資産 | 91,820 | 3,161 | 94,982 | △284 | 94,698 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△18百万円には、セグメント間の取引消去金額3百万円、のれんの償却額△21百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△284百万円には、セグメント間の債権債務の消去額△326百万円、のれんの計上額59百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結財務諸 表計上額 (注) 3 |
|-----------------------|----------------|--------------|---------|--------------|------------------------|
| | アルミニウム 二次合金 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 192,773 | 3,975 | 196,749 | — | 196,749 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,004 | 48 | 1,052 | △1,052 | — |
| 計 | 193,778 | 4,024 | 197,802 | △1,052 | 196,749 |
| セグメント利益 | 7,863 | 266 | 8,130 | △18 | 8,111 |
| セグメント資産 | 86,989 | 4,211 | 91,200 | △397 | 90,802 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△18百万円には、セグメント間の取引消去金額2百万円、のれんの償却額△21百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△397百万円には、セグメント間の債権債務の消去額△415百万円、のれんの計上額37百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 752.42円 | 834.87円 |
| 1株当たり当期純利益 | 108.43円 | 122.40円 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 106.79円 | 120.54円 |

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 4,490 | 5,058 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 4,490 | 5,058 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 41,413,858 | 41,331,033 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 637,128 | 637,065 |
| (うち新株予約権)(株) | (637,128) | (637,065) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | | — |

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 31,669 | 34,516 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | 509 | 526 |
| (うち新株予約権) | (148) | (148) |
| (うち非支配株主持分) | (361) | (378) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 31,160 | 33,990 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株) | 41,413,203 | 40,713,944 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。